

各 位

ABEJA Platform をアップデート
～ 「ABEJA LLM Series」の拡充および統合で、適用範囲が大幅に拡大 ～

当社は、ABEJA Platform が、生成 AI をはじめとする最先端技術を、人と AI の協調により運用するプラットフォームにアップデートすることをお知らせいたします。

これは ABEJA Platform に搭載した「ABEJA LLM Series」の拡充および統合に基づくものです。

当社は引き続き、特許の取得や事例の創出などに積極的に取り組み、ABEJA Platform が有する圧倒的な技術的優位性を強化してまいります。

当社は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。ABEJA Platform は、ミッションクリティカル業務における堅牢で安定した基盤システムとアプリケーション群であり、生成 AI をはじめとする最先端技術による運用が人と AI の協調により実現可能です。当社は、2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、顧客企業からの信頼のもと、数多くの導入を進めることで「テクノロジーの力で産業構造を変革する」ミッションに取り組んでいます。また、「イノベーションで世界を変える」ビジョンに基づき、2012 年からディープラーニング、2018 年から大規模言語モデル、2019 年から量子コンピューティングなどの前衛的研究開発を積極的に行っており、研究開発成果を順次 ABEJA Platform に搭載することで、社会実装に貢献してまいります。

当社は、経済産業省が立ち上げた GENIAC※1 の元、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に採択された案件においても、LLM に加え LLM がデータを効率よく取り入れられる周辺技術の研究開発を行っております。GENIAC の研究開発の成果やプロセスより、当社は、LLM の周辺領域に取り組むことが、経済合理性や実用性の向上につながると確信しております。

当社は、このたび、「ABEJA LLM Series」の大規模な拡充を行い、ABEJA Platform に統合いたしました。これにより、ABEJA Platform は、生成 AI をはじめとする最先端技術と人と AI の協調を含めた導入プロセスを連携し、ミッションクリティカル業務における適用範囲を大幅に拡大します。

具体的には、デジタル版 EMS を標榜している ABEJA Platform 上で、AI が主導する改善を実現することが可能となり、顧客企業はオペレーションを継続するだけで、高度化を実現できるようになります。

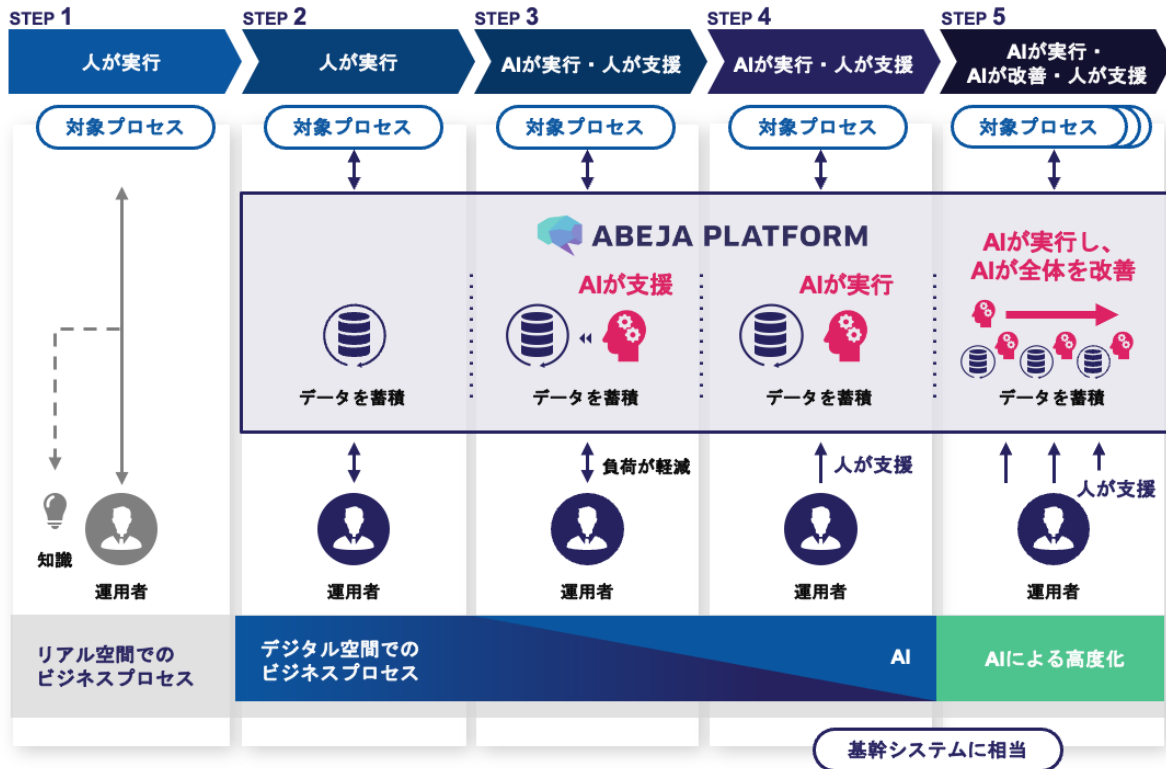
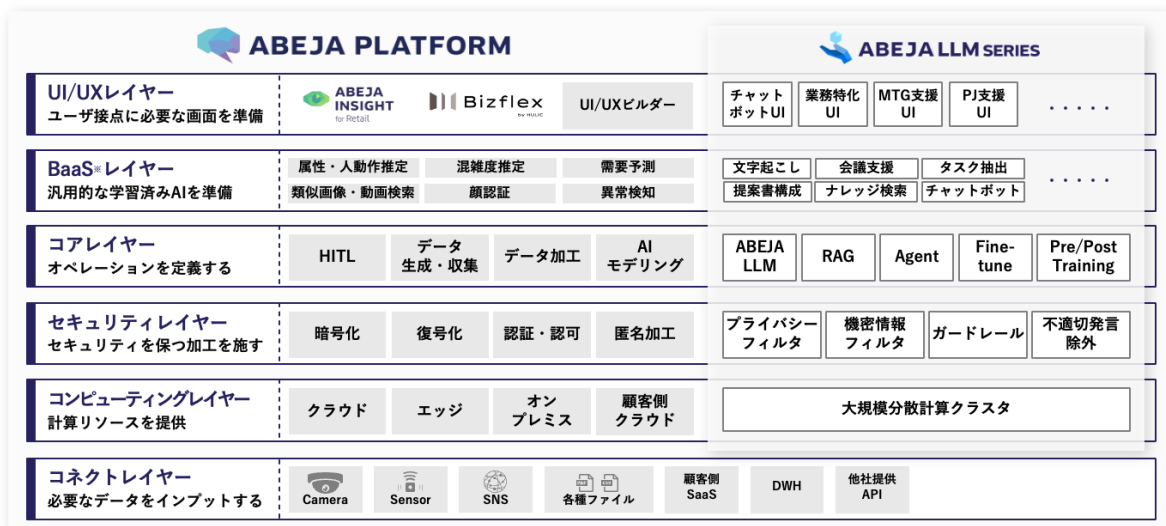


図 人とAIが協調する「Human in the Loop」の仕組み

当社は、引き続き、ミッションクリティカル業務における ABEJA Platform の開発・導入・運用を通して、産業構造の変革を推進します。

なお、本件は 2024 年 10 月 10 日に公表した業績予想に織り込み済みであります。



※BaaSとは、Backend as a Serviceの略称で、アプリケーションのバックエンド機能を提供するクラウドサービス。

図 ABEJA Platform 概要

※1 GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge) : 日本の生成AI の開発力強化を目的とした経済産業省およびNEDOが推進するプロジェクト。

※2 第一期における当社発表および成果発表は以下よりご確認ください。

<https://www.abejainc.com/news/20240202/1>

<https://www.youtube.com/watch?v=70nYBgBxCdw>

■ 株式会社 ABEJA について

本 社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設 立：2012 年 9 月 10 日

代 表：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事 業：ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform
の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」

URL : <https://abejainc.com>